

第226号

平成25年4月10日

病院だより



当院の出来事

広報委員会

急性腎傷害について

Okii Kouji

大城 光二

産科病棟をリニューアルいたしました

Asako Nakamura

中村 麻子



国際親善総合病院

〒245-0006 横浜市泉区西が岡 1-28-1
TEL 045 (813) 0221 (代表)
FAX 045 (813) 7419 (総務課)

当院ホームページをご覧ください。

<http://shinzen.jp>



春 夏 当院の出来事 秋 冬

● 泉区社会福祉協議会より感謝状 3月1日(金) 13:00～

泉区公会堂にて、第26回泉区社会福祉大会の開催にあたり、社会福祉法人親善福祉協会福祉の増進の貢献者として、当院の医療福祉相談室係長井出みはるに感謝状が授与されました。

● 東海沖地震を想定した災害発生時の机上訓練 3月11日(月) 13:30～

当院では、災害発生時の机上訓練を3月11日(月)に講堂にて実施しました。この訓練は、東海沖地震(横浜市泉区 震度6以上)を想定した初動訓練(災害発生から約1時間の動き)を実施し、病院長をはじめ41名が参加しました。

参加者からは、「非常時にはいかに迅速かつ的確な対応が重要であるか、また各部門・施設間の連携がいかに必要であるかを再認識した」等の感想が寄せられるなど、災害時の対応スキルの向上とともに、災害時における地域中核的病院のスタッフとしての意識を高めることができ、実り多い訓練となりました。



● 平成25年度入職式 4月1日(月) 8:30～

当院(講堂)にて、臨床研修医・看護師・理学療法士・臨床工学技士・事務職員の入職式および合同オリエンテーションが開催されました。

急性腎傷害について

腎臓は腰上部の背中寄りにある臓器で、握りこぶし大の大きさで左右一対あり、重さは1つ120g程度です。大量の血液をろ過し、尿をつくっています。これは過剰な水分や酸、電解質、老廃物などを体外に排出するために24時間休まず行われています。腎臓は高性能なフィルターに例えることができます。身体の状態をモニターし、ろ過した血液から必要な物質を調整して再吸収するなど、複雑な過程を経て最終的に尿が作られます。他にも血圧を維持するホルモン、造血ホルモンを調整し、さらに骨の代謝にも深く関わっています。

腎臓の機能が低下し、これらのはたらき（特に毒素の排泄や電解質調整）を維持できなくなった状態を、腎不全といいます。たとえば数日のうちに腎機能が急激に低下してしまった場合は急性腎不全と言えます。急性腎不全では、多くの場合で尿量の低下が認められ、1日400ml以下、もしくは全く尿が出なくなることもあります。行き場を失った水分が身体にたまり、むくみや胸水、心不全を引き起こし呼吸困難に至る危険があります。また、排出すべき毒素が身体にたまると、疲労感、頭痛、食欲低下、吐き気など、尿毒症と呼ばれる症状が現れ、重篤な場合は昏睡状態や死に至る不整脈を引き起こします。

早期の診断、治療が腎臓を守る鍵となるため、近年これまでの急性腎不全に加えて、腎不全には至っていないものの、急激に腎機能が低下しつつある状態も合わせて、急性腎傷害（Acute Kidney Injury, AKI）と呼ばれ、広く認識されるようになりました。

さて、急性腎傷害を引き起こす病気には、どのようなものがあるでしょうか。脱水症、感染症などによく見受けられます。また、薬の副作用や、中には稀な自己免疫の病気が見つかることもあります。今回は急性腎傷害を中心に、腎臓と身体の間わりをお話したいと思います。

腎臓・高血圧内科 大城 光二

このテーマは

平成25年5月10日(金) 15:00から約1時間

の健康懇話会にて講演予定です。

(入場無料、予約不要、どなたでもご自由にご参加ください。)

産科病棟をリニューアルいたしました！

2C病棟（産婦人科）では、年間約800人の赤ちゃんが誕生しています。

私たちは、大切な赤ちゃんの誕生が安全に迎えられるよう、また、お母さんとご家族の方が満足のいく出産ができるよう、命の誕生の場に立ち会い、お手伝いをさせていただいております。



2C病棟では、出産に臨む皆さんの環境をより充実させるために、3年前の分娩室の改装にはじまり、今回はお産後にお母さんと赤ちゃんが過ごすお部屋（褥室棟）のリニューアルを行いました。リニューアルの内容は、褥室棟の入り口をオートロックにし、セキュリティの強化をはかった他、温かい雰囲気を出せるように、壁紙は花柄、カーテンは淡いピンク色、床は木目調に張替えました。また、皆さんからのご意見をもとに、ロッカーの配置換えやシャワールームの増設なども行いました。



リニューアル後、褥室棟内は明るくなり、産後のお母さんから好評をいただいております。私たち職員も気持ち良く働ける職場になりました。新しい環境で、気持ちも新しく、産後のお母さんや赤ちゃんが、より安心して入院生活を送り、新しい家族の出発ができるよう、スタッフ一同、これからも精一杯お手伝いさせていただきたいと思っております。

最後になりましたが、リニューアル中は、入院中のお母様及びご家族の皆様には、多大なるご協力をいただきましたこと心から感謝しております。この場をおかりしてお礼申し上げます。

2C病棟課長 中村 麻子